

## 編集委員会

編集委員長：中野裕康  
編集委員：赤羽悟美  
池田隆徳  
近藤元就  
南木敏宏  
高橋寛  
編集顧問：伊豫田明

船戸弘正 弘世貴久  
狩野修 片桐由起子  
松田尚久 内藤篤彦  
大塚由一郎 佐藤二美  
和田弘太  
津熊久幸

(ABC順)

## 編集後記

WHOがCOVID-19パンデミックを宣言してから3年が経ちますが、未だに感染拡大との戦いが続いています。COVID-19パンデミックは、私たちに健康危機が社会活動や経済活動にどれほど深刻なダメージをもたらすかを突きつけ、多くの教訓を残しました。一方で、新たなワクチンや治療薬の開発やDX推進など、医療と社会活動に変革をもたらしました。歴史を振り返ると、人々はパンデミックや自然災害を乗り越えるために叡智を結集して、医療と政策を大きく進歩させて来ました。本号の巻頭言では、館田一博先生に「COVID-19パンデミックおよびAMRサイレント・パンデミックから何を学ぶか」について解説して頂きました。続いて、今年度いっぱい定年退官されます並木温先生、島田長人先生、前谷容先生、清水教一先生、藤岡俊樹先生、鈴木光也先生から「送別の辞」を頂きました。東邦大学医学部および医療センターにおける長年に亘るご貢献と偉大なるご功績に心より敬意を表します。教室紹介では、佐藤二美教授から解剖学講座解剖学講座生体構造学分野について、菊池由宣先生と島田英昭先生から臨床腫瘍学講座についてご紹介いただき、常喜信彦先生から「宇宙で生活する」という論評をご執筆頂きました。お忙しい中、原稿をご執筆くださいました先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

東邦大学は2025年に創立100周年を迎えます。医学・医療の100年間を振り返ると、化学療法剤の登場やヒトゲノ

ムの解読と電子情報工学の進歩により、大きな進歩を遂げて来ました。一方で、この100年の間に、人類の営みが新たな健康危機をもたらすという問題が浮上して来ました。それでは、100年後の医学・医療に目を向けてみると、人類の健康危機は克服されているでしょうか？健康寿命はどこまで延びているのでしょうか？想像は尽きませんが、100年後も東邦医学会雑誌が皆様に有用な情報をお届けし愛される雑誌であってほしいと願っています。

(赤羽悟美)

### 東邦医学会雑誌 第70巻 第1号

令和5年3月1日発行

編集兼 中野裕康  
発行人

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号  
東邦大学医学部2号館M1階 医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎